

令和 7 年度 第 1 回防府市観光振興推進協議会
議事録等

□開催日時

令和 7 年 1 0 月 2 日 (木) 午後 2 時 0 0 分から午後 3 時 3 0 分

□場所

防府市役所議会棟全員協議会室（防府市役所議会棟 3 階）

□次第

1 開会

2 議事

(1) 第 4 次防府市観光振興基本計画について

3 閉会

□配付資料

資料 1 第 4 次防府市観光振興基本計画（案）

□報道

なし

□傍聴人

4 人

出席者名簿

敬称略・順不同

	区 分	委 員 名	所 属	出欠
1	学識経験	会長 國崎 歩	山口大学経済学部 准教授	出席
2	観光関係団体	松田 和彦	防府商工会議所 専務理事	出席
3	観光関係団体	中司 達美	(一社)防府観光コンベンション協会 副会長	出席
4	観光関係団体	宇野 好一	防府観光物産協会 会長	欠席
5	観光関係団体	達川 政明	天神町銀座商店街振興組合 理事長	出席
6	行政関係機関	吉谷 由紀恵	(一社)山口県観光連盟 ゼネラルマネージャー	出席
7	市民（一般公募）	田中 元昭		出席
8	市民（一般公募）	西村 和能		出席
9	市民活動団体	京井 和子	特定非営利活動法人 市民活動さぼーとねっと	出席
10	観光関連事業者 (旅行業者)	丹 康二	(株) J T B 山口支店 支店長	欠席
11	観光関連事業者 (産業観光関係者)	田中 真二	マツダ（株）防府工場 総務部長	出席
事務局		松村 慎吾	文化スポーツ観光交流部 部長	
		田村 裕之	文化スポーツ観光交流部 部次長	
		藤本 奉文	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 課長	
		田中 陽一	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 課長補佐	
		石橋 佳浩	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 観光政策係長	
		平井 耕平	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 誘客推進係長	

議事概要	
1 開会	事務局より開会の宣言
(会議公開)	会議の公開について 意義なし
(会長の選任)	國崎委員が会長に選任された
(副会長の指名)	中司委員が副会長に指名された
2 議事	
(会長)	本日の議案について事務局から説明をお願いします。
(事務局)	議題（１）第４次防府市観光振興基本計画について ・資料１「第４次防府市観光振興基本計画（案）」により説明
(会長)	事務局から次期観光振興基本計画（案）について説明があった。前回の会議で整理された課題の解決に向け、基本理念や基本方針、目標値などが盛り込まれた次期計画の全体像が示された。また、各委員からの意見や第６次防府市総合計画との整合性について反映状況の説明があった。
(Ａ委員)	２３ページの「ロケ」は「ロケツーリズム」、「ロケ地」どちらを指すか。
(事務局)	「ロケ地」を指す。
(Ａ委員)	観光消費額について、宿泊が増えなければ消費単価が上がってこないと思うが、どう考えるか。
(事務局)	新たな体験商品の造成に加え、夜間・早朝コンテンツも検討して滞在時間を延長し、防府での宿泊を促していく。
(Ａ委員)	人口減少が進む中であっては、新たな個人消費を生み出してくしかないと思っている。特にインバウンドの滞在が最も効果があると思うので、しっかり取組を進めていただきたい。
(Ｂ委員)	前回の意見をしっかり反映いただき感謝する。次期計画案に掲げられた目標値を達成するには、防府天満宮をはじめとする様々な観光資源を点で捉えるのではなく、点から線、そして面へと拡大して捉え、その中で環境や食、体験コンテンツ、宿泊などが繋がっていかなければならないと思う。
(事務局)	山口デスティネーションキャンペーンを契機として様々な場所で多彩なコン

	テンツを造成している。また、現在、観光庁の補助事業を活用して防府天満宮での夜間コンテンツの造成も進めている。点が線、面となるよう、従来の観光資源と新たなコンテンツを組合せて選択いただけるように情報発信し、滞在時間の延長や観光消費額の増加に繋げていきたい。
(C委員)	基本理念に「また来たくなる」「勧めたくなる」とあるが、こうした思いに繋げるには個人の口コミの影響が大きいと思う。この計画案の中で、個人客についてはどのように誘客等を進められるか。
(事務局)	22ページの「(1) 観光需要を取り込む効果的な情報発信」は主に個人観光客に向けた情報発信を整理している。ターゲットの特性に応じて情報や媒体を取捨選択し、効果的な情報発信を行っていく。口コミに繋がるような取組としては、既に防府観光コンベンション協会が実施されているSNSキャンペーン「ほうふ観光フォト」のような、防府を観光された方に思い出を共有・拡散していただける取組を実施していく。また、デスティネーションキャンペーンを契機に造成した少人数で楽しんでもいただける体験コンテンツを、県やJRと協力し、しっかり売り込んでいきたい。
(D委員)	国衙跡の広大な敷地に、当時を思い起こせるような建物は建てられないか。併せて、歴史を体感できるようなジオラマや模型を活用した取組はできないか。また、先日地域情報紙に『「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」防府駅停車一周年記念イベント』の広告が出ていた。非常にわかりやすく、市民に広く見てもらえるため、イベント告知には適した情報発信媒体と思う。
(事務局)	国衙跡は史跡を土で覆って保護している状態であり、建物を建てるには史跡整備に基づく一定の条件がある。昨年度、北側に車の進入路を整備しているので、イベント等で活用していきたい。イベントで利活用する際には、国衙跡の歴史などもしっかり啓発しなくてはならない。ジオラマや模型について、まずは英雲荘にある三田尻御茶屋の再現模型や、文化財郷土資料館にある国司が住む邸宅を再現した「国司館」の復元模型など、既にあるものをしっかりPRしていきたい。地域情報紙の広告は、昨年の瑞風初停車や歴史観光講演会の際にも活用し、効果があつたため今回も展開した。まさに、ターゲットに応じた媒体の選択による効果的な情報発信であると考えており、引き続き活用していきたい。
(E委員)	学問の神様として知られる防府天満宮を、超学歴社会で知られる台湾や韓国の受験生に向けて売り込んではどうか。学生の家族などを含め、団体での誘客に繋がるのではないか。瀬戸内海の海の幸や右田ヶ岳のトレッキングなど、その他の観光資源を含めてパッケージングしてPRすると面白いのではないかとと思う。

(事務局)	先程、観光庁の補助事業を活用して防府天満宮でのコンテンツ造成を進めている旨ご紹介したが、事業を組み立てる段階で、台湾や韓国に向けて「受験」をキーワードとした誘客が図れないか、という同様のアイデアが出ていた。今後のインバウンド施策を進める中で材料の一つとして検討していきたい。
(C委員)	防府を舞台にしたアニメ映画「マイマイ新子と千年の魔法」が国衙跡で上映されたことがあった。今後、同様のイベントが開催される際は連携していただきたい。また、教育機関と連携した観光教育参画のお話があった。松崎小学校での取組などで実績があるが、社会見学や修学旅行なども含めて取組を進めていただきたい。我々大人も防府の良さ、素晴らしい観光資源について知ることが必要と思う。
(事務局)	国衙跡で上映された同作品は、まさに国衙跡がどういったところだったかが分かる作品。今後も機会があれば協力していきたい。観光教育については、27ページの「(3) 防府への誇りと愛着を持ったおもてなし人材の育成」の中で、小学校から大学まで幅広い教育機関と連携し、防府への想いを育てる取組を進めていきたい。大人向けの啓発として、昨年度から歴史観光講演会を開催しており、今年度は「天神さま」をテーマに開催を予定している。松崎小学校こども観光振興課にご協力いただくことも検討している。
(F委員)	防府は観光資源に恵まれている。四季折々の景色も素晴らしい。テレビや新聞紙面などでもっと発信されると良いと思う。小中高のこども達が市内各所で活動しているのは非常に和やかな雰囲気があるので、教育機関と連携する中で、そういった場面が増えると良いと思う。また、市内飲食店で心温まるおもてなしを経験した。同様のおもてなし、心遣いが定着していけば良いと思う。
(事務局)	マスメディアに取材していただき、広く報道していただけるよう、報道機関への情報提供などにしっかり取り組んでいきたい。観光教育については、防府商工高等学校の生徒に英雲荘や毛利邸についてしっかり学んでいただき、ガイドのお手伝いをしていただくような取組も行っている。引き続き、小学校から大学まで、幅広く連携して様々な取組を進めていきたい。おもてなしについては、観光客を温かく迎え入れていただけるような土壌づくりに取り組んでいきたい。
(D委員)	26ページに「夏の鰐、冬の河豚」とあるが、市内には内海で採れた地物の河豚を提供している飲食店もある。これからシーズンを迎えるので、しっかりPRすれば誘客に繋がるのではないかなと思う。
(事務局)	数年前から、防府観光コンベンション協会が「冬の河豚」をPRするキャンペーンを実施されている。引き続き、同協会と一体となって「夏の鰐、冬の河豚」をしっかり売り込んでいきたい。

(G委員)	「鱧」と「河豚」はしっかりPRしていきたい。「ほうふ観光フォト」は現在「食」をテーマに開催中。引き続きテーマを変えながら取り組んでいきたい。 国衙跡は過去に発掘の様子公開などをされていたが、他の委員の意見にもあったようにもったいないという気がしているので、利活用を進めていただきたい。例年11月に開催される毛利博物館特別展「国宝」は県外からも多くの集客がある。やはり「国宝」には特別な魅力があると思うので、防府天満宮所蔵の「松崎天神縁起絵巻」が国宝に指定され、防府の魅力が増すと良いと思う。
(事務局)	食や史跡、国宝をはじめとする数多くの文化財など、防府には本当に素晴らしいお宝がある。新たなお宝も掘り起こしながら、引き続き、しっかりPRしていきたい。
(H委員)	デスティネーションキャンペーンを契機に新たなコンテンツを開発され、発信をされていく中で、メディアに取り上げられることが増えていくと思っている。折しも昨日からプレDCがスタートし、今後は様々なメディアから観光コンテンツに関する情報提供を求められることが増えてくる。そうした時には、料金や実施期間、諸条件などが明確で、見栄えのする画像が揃っているコンテンツが紹介しやすい。今回防府市では、他市町に先駆けて、毛利邸でのアフタヌーンティー体験をはじめとするコンテンツを丁寧に造成していただいております、情報も揃えていただいているのでありがたく思っている。10月22日に開催される販促会議では400人を超える参加を見込んでおり、エクスカージョンでは180名程度が8コースに分かれて県内を巡ることとなっている。またとない機会にしっかりと売り込んでいただき、各種情報発信ツールも活用していただきながら、防府に多くの観光客が訪れるように取組を進めていただきたい。
(事務局)	デスティネーションキャンペーンは、地元自治体にとって大きなチャンスだと思っている。来年の本番を見据えて、既存コンテンツの磨き上げや、さらなる新規コンテンツの造成に取り組み、誘客につなげていきたい。
(G委員)	防府天満宮花神子社参式の奴行列が取材を受けている。後継者不足の中、女性自衛隊員や外国人の方が協力している様子を、練習の段階から取材されており、後日放送されるのでご紹介しておく。
(会長)	クルーズ船の誘致について、国や年齢層などターゲットは定めておられるか。また、食や土産物など、こういったものが好まれるか調査が可能であれば、今後の誘致戦略が明確になるのではないかと思います。
(事務局)	クルーズ船は今年に入って3回、三田尻中関港に寄港している。前回は2017年だったため、一気の寄港だったがしっかり対応させていただいた。クルー

	ズ船の誘致にあたっては船籍や年齢層など明確にターゲットは定めておらず、どういったクルーズ船が寄港してもしっかり対応できる体制を整えている。また、防府以外の近隣の港に寄港した際に、バスツアーで防府に来ていただけるような働きかけもしっかりしていきたい。食や土産物については経験が不足しているため、色々と試しながら進めていきたい。
(会長)	毛利邸でのアフタヌーンティー体験の反響が大きいという事だったが、女性や若年層に響くコンテンツなので、そういった層に向けたPRを強化されると幅広い観光客誘致に繋がるのではないかなと思う。
(事務局)	毛利邸でのアフタヌーンティー体験は、30代から50代の女性をターゲットに定め、近隣に例のない差別化を図れるコンテンツを念頭に置いて造成した。先日、実際に販売された際の様子を伺うと、まさにターゲットとして定めた層が体験されており、手応えも感じている。引き続き、ターゲットを明確にしたコンテンツ造成に取り組んでいきたい。
(会長)	本日は第4次防府市観光振興基本計画の案が示され、皆様にご議論いただいた。事務局作成の案について大規模な修正を求めるご意見はなかったように思う。本協議会として、この案を承認するという事でよろしいか。 (満場拍手)
(会長)	それでは承認とし、事務局は本案をベースに計画策定を進めていただきたい。昨年は、過去最高の観光客数となった防府市だが、来年の山口DCや防府天満宮の1125年式年大祭といった機会を控え、今後もさらなる観光振興が必要と思う。次期計画案に示された、より質と満足度の高い観光地を目指した積極的な取組に期待する。それでは、議事を閉じて進行を事務局へお返しする。
3 閉会	